

# 平田出張所便り

第16号(11月1日版)

## 渡り鳥の飛来シーズンとなりました

今年も早いもので11月を迎え、秋も一段と深まりつつあるこの季節、宍道湖西岸の斐伊川河口付近とその周辺では、沢山の水鳥たちが集い、急に賑やかになりました。

例年飛来するマガン（国の天然記念物）やコハクチョウも9月下旬以降順次姿を見せ、その数を増やしてきており、もうじき飛来が予定される貴重種のヒシクイ（マガンの一種で国の天然記念物）も含め、飛来のピークである11月から1月頃に向けて、宍道湖西岸一帯が一年で最も賑わう季節となります。



落ち穂をついばむマガンの群れ



斐伊川右岸堤防付近  
(出雲市島村町)

斐伊川の三代橋付近  
(雲南市加茂町三代)



斐伊川河口部

撮影日：H22. 10. 28



### ～ 担当者からのひとこと ～

斐伊川河口付近では、河床に堆積した砂の除去や河川敷に繁茂した樹木の除去などの維持管理作業を随時行う場合がありますが、作業に当たっては鳥たちの生息環境に影響を与えないよう、細心の注意を払うよう心掛けています。